

令和4年度 滋賀県「学校を核とした地域力強化プラン」研修会（市町事業担当者対象） 開催報告

- 1 趣旨** 県で実施される「学校を核とした地域力強化プラン」に係る市町の事業担当者を対象に、事業の趣旨や運営上の留意点などを説明することにより、事業の円滑な実施を図る。また、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進方策についての理解を深め、普及につなげる。

県全域において市町の連絡体制の構築や情報の共有を推進するとともに、設置の拡大や運営の充実に向けた方策について情報交換する。

- 2 主催** 滋賀県教育委員会

- 3 対象** (1) 「学校を核とした地域力強化プラン」事業主管課の担当者
(2) 各市町生涯学習・社会教育主管課担当者
(3) 各市町学校教育主管課担当者

- 4 日時** 令和4年4月26日（火） 14:00～17:00

- 5 会場** 滋賀県庁東館7階大会議室（大津市京町四丁目1番1号）
（新型コロナウイルス感染症に係る情勢により、オンライン参加も可とする。）

6 内容

○行政説明

- ・滋賀県における地域と学校の連携・協働推進方針について
- ・事業概要について
- ・今年度の研修について
- ・補助金事務および事業実施の留意点について

○情報交換

- ・県内のプラン事業の推進状況について
- ・各市町における課題や成果等について

○講演

- ・演題：「こどものために みんなで つなぐ 地域とともにある学校 コミュニティ・スクール ～社会に開かれた教育課程の実現に向けて～」
- ・講師：西 孝一郎 氏
（京都光華女子大学こども教育学部 准教授、文部科学省CSマイスター）



- 7 参加者数** 34名（来場19名、オンライン15名）

8 講演の概要

講師より、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の目的や地域学校協働活動との関係性、社会に開かれた教育課程をカリキュラム・マネジメントで実現していくことについて等、御教示いただいた。「マネジメント」という言葉を「うまくやること」という言葉に置き換えての分かりやすい表現や、「OKからLet'sへ」のように印象に残るキャッチフレーズで取組について説明いただいた。最後に、コミュニティ・スクールで育った子どもが大学生になった時のエピソードを紹介くださったこと

で、コミュニティ・スクールがとても価値あるものであることを参加者みんなで共有することができた。

9 参加者のアンケートより

- ・今まで聞いたCSの講演会の中で一番分かりやすく“すとん”と落ちました。
- ・難しく考えていたことを分かりやすく、具体をイメージできる言葉にかみくだいて御教示くださったので、理解が深まりました。
- ・普段疑問に思っていたり、腑に落ちなかったりする部分がすっきりとするようなお話で、時間を忘れて聞くことができました。
- ・最後に子どもが大人になって感じたことを聞けて、コミュニティ・スクールの成果が見られ、背中を押してもらえました。
- ・とても勉強になりました。カリキュラム・マネジメントとPDCAとの関連がよく分かり、良かったと思います。また、平易な言葉への言いかえも、これからの業務の役に立ちそうです。
- ・今、一番知りたいことを大変分かりやすく教えてくださいました。この研修会の後に、ある学校の学校運営協議会に参加します。そこで、今日、西先生から学ばせていただいたことをこの熱を持ちながら伝えたいと思いました。
- ・これからの事業を推進していくうえで参考になるお話を伺うことができ、自分自身の考えに道筋ができたように感じています。

